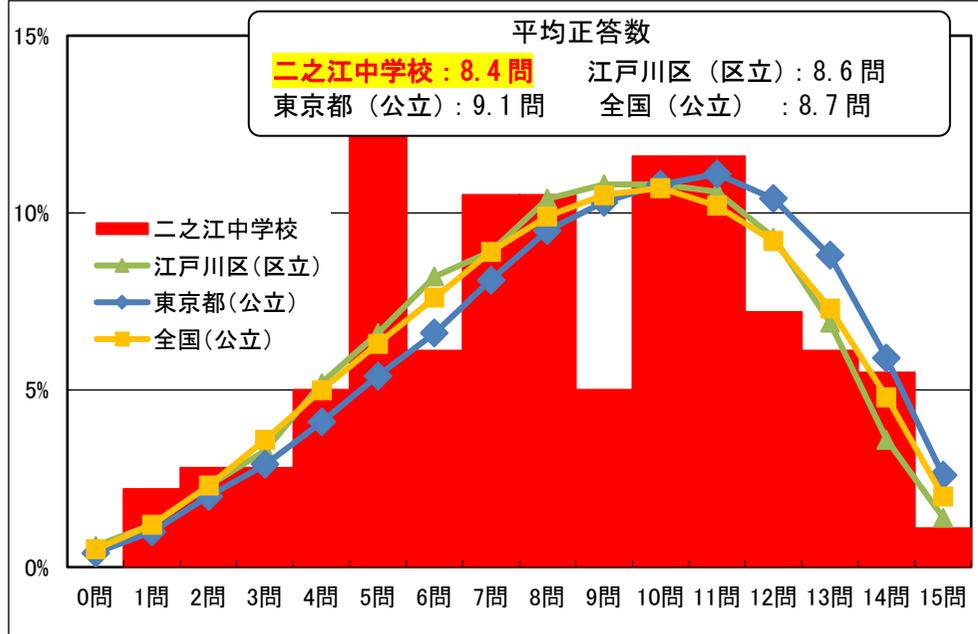
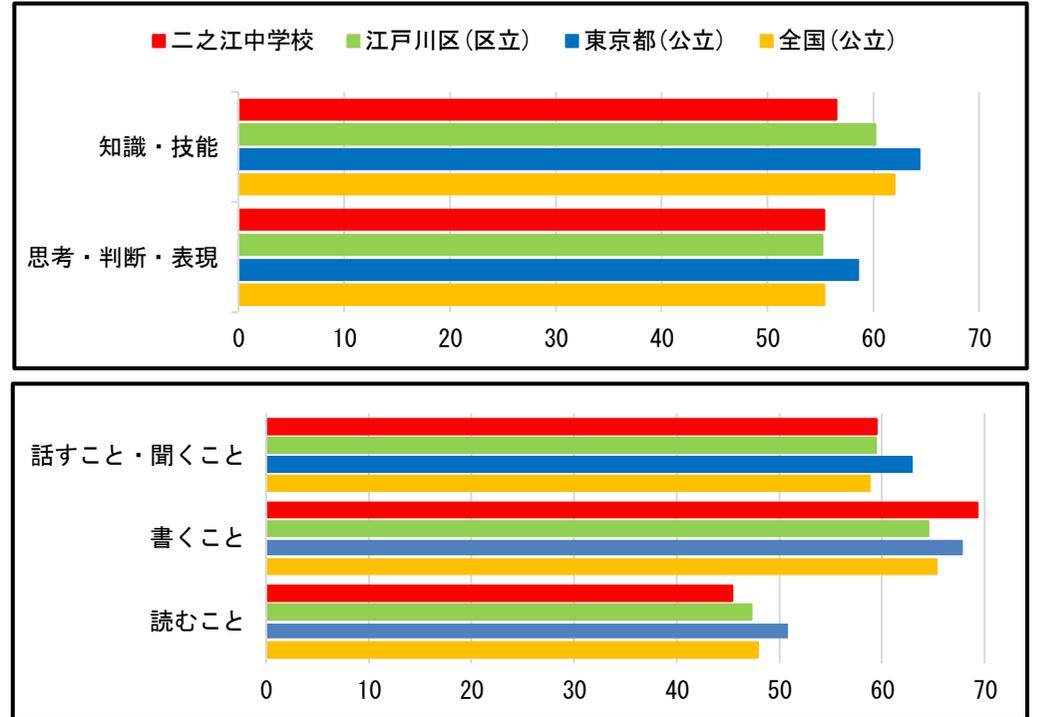


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 二之江中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12~15問	B層 9~11問	C層 7~8問	D層 0~6問
二之江中学校	19.9	28.2	21.0	31.1
江戸川区 (区立)	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都 (公立)	27.7	32.2	17.6	22.5
全国 (公立)	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】

二之江中学校	56%
江戸川区 (区立)	57%
東京都 (公立)	61%
全国 (公立)	58.1%
都との差	-5ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

領域別の結果から分析すると、書くことについては平均を上回ったが、その他についてはすべて下回る結果となった。特に、読むことについては、早急な改善が必要である。

読む力は、国語の教科のみならず、他教科の力を伸ばす上でも重要な力であるため、普段の授業から文章読解力をつける課題を設定するように努めていく。また、読書科の取り組みで行っている「よむYOMUワークシート」も国語の授業内で活用し、生徒の読解力向上および定着に努めていきたい。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合を示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。